

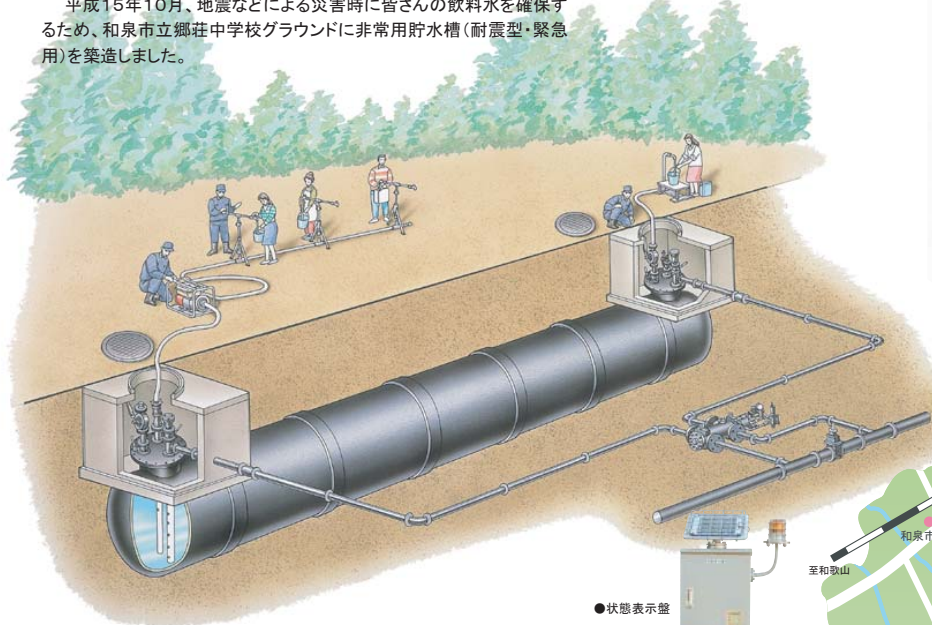




# 災害時の飲料水確保に向けて！！

## ～非常用貯水槽を設置～

平成15年10月、地震などによる災害時に皆さんの飲料水を確保するため、和泉市立郷荘中学校グラウンドに非常用貯水槽(耐震型・緊急用)を築造しました。



非常用貯水槽は、直径2,600mmのパイプ構造で、普段は皆さんのご家庭へ水を送る水道本管の一部として、絶えず新鮮な水が循環しています。この貯水槽は災害などにより水圧が低下した場合、自動的に遮断弁が作動し(圧力感知式)、大きなタンクとして100m<sup>3</sup>を貯水し、延べ33,000人分(1人1日3リットル)の飲料水が確保できます。

附属設備として、エンジンポンプや給水ホースを保管する「防災倉庫」と遮断弁作動時にランプが回って知らせる「状態表示盤」を備えています。

この他にも市内の主要な配水池(5か所)に、「緊急遮断弁」を設置しており、災害時に水の流出を防ぎ、応急的に飲料水を確保することができます。

阪神・淡路大震災以降、各ご家庭での防災対策が浸透しているなか、水道部でも非常時における飲料水確保のため、今後も計画的に非常用貯水槽を設置するなど施設の耐震化を進めます。

## ごぞんじですか？「あんしん給水栓」

大阪府水道部が各市町村へ水を送る水道管に、「あんしん給水栓」を設けています。これは、災害時に飲料水を確保できるもので、和泉市には12か所設置されています。

### あんしん給水栓設置箇所

記号	所在地	記号	所在地	記号	所在地
①	葛の葉町	⑤	いぶき野二丁目	⑨	池田下町
②	池田下町	⑥	唐園町二丁目	⑩	尾井町
③	池田下町	⑦	唐園町四丁目	⑪	上代町
④	いぶき野一丁目	⑧	伏屋町二丁目	⑫	いぶき野三丁目



## もしもの災害に備えて

### ～水道部の備え～

種類	容量	数量
給水車	2m <sup>3</sup>	1
	1m <sup>3</sup>	3
	0.5m <sup>3</sup>	3
給水ビニール袋	1m <sup>3</sup>	2
	0.5m <sup>3</sup>	3
給水ポリタンク	20L	120
	10L	300
給水ポリ袋	10L	8,400
給水ポリ容器	10L	1,000
カンパン(缶入り)		14,400
備蓄水(ボトル缶500ミリリットル)		16,800

水道部では、災害時に迅速な災害復旧対策を実施し、市民生活への影響を最小限に抑えるため、災害用資機材の備蓄に努めています。



## ご家庭の備えはだいじょうぶですか？

飲料水は、大人1人に対して1日約3リットルが必要です。日頃から飲料水の備蓄に心がけてください。備蓄飲料水は、直射日光の当たらない風通しの良い場所にポリ容器などに入れて保管しておけば、3日程度は保存できます。保存期間が過ぎたら雑用水に使用し、入れ替えをしてください。また、風呂の残り湯は生活用水や初期消火に利用でき大変役立ちます。日頃から水を溜め置きされることをおすすめします。

### 水道部 インフォメーション

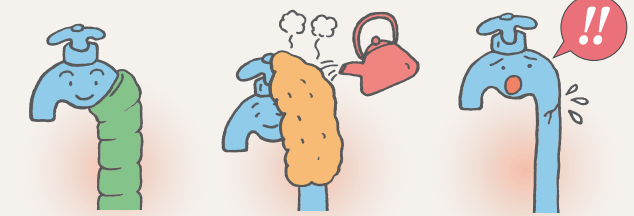
#### ■水道フェア大盛況！！

昨年10月25・26日に池上曽根史跡公園で「和泉市商まつり & 都市緑化・水道フェア」が開催されました。両日とも天候に恵まれ16万6千人の方々にご来場いただき、大盛況となりました。水道フェアでは恒例の「相談コーナー」、「めだかの学校」や、3年ぶり「野点の(だて)」を加え、多くの方々に水道について親しんでいただくことができました。



## さむ～い季節 水道管は こらえていませんか？

気温がマイナス4℃以下の日や「異常低温注意報」が発令された日、特に風のよく当たる北向きの水道管や、むき出しになっている水道管は、中の水が凍ったり、管が破裂することがあります。早めに水道管に冬じたくをしてください。



- 防寒のしかた**  
むき出しの水道管には、保温材を取り付けたり、布切れなどを巻き付け保温します。じゃ口から少しずつ水を出しておくことも凍結予防になります。
- 水道管が凍結したときは・・・**  
布切れ、タオルなどを巻き、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かします。直接熱湯をかけると、水道管が破損するおそれがあります。
- 万一、破損したときは・・・**  
水道管・・・止水栓を閉めて水を止め、近くの市指定工事業者へ修理の依頼を(有料)  
メーター・・・水道部まで連絡を